

JR 北本駅
西口駅前広場
改修事業
竣工記念
ブックレット



JR 北本駅
西口駅前広場
改修事業
竣工記念
ブックレット

北本駅西口駅前広場改修事業の概要

北本駅西口駅前広場は、市の西エリアの人口増加に伴い、昭和50年に誕生しました。それから約35年が経過し、駅前広場は、交通量増大による交通の錯綜、施設の老朽化、バリアフリーへの対応など、いくつかの課題をかかえることとなります。そこでこれらの課題を解決し、さらに中心市街地の活性化に向けた改修事業を行うこととなりました。

改修の計画策定にあたっては、『北本らしい“顔”の駅前づくりプロジェクト』を立ち上げ、市民と専門家、行政が一緒になって、地域資源や人材を掘り起こし、北本の玄関口にふさわしい駅前広場について考えてきました。その結果、雑木林から根株を移植してくることや、人が集える多目的広場の設置など、ユニークな駅前広場となりました。

交通広場から交流広場へ

今までの駅前広場は、通勤・通学者を都心へと送る「ポンプ」のような役割を果たしてきました。しかしながら、通勤・通学者人口は、少子高齢化により確実な減少傾向にあります。そのような中、新しい世代にとっての駅前広場は、単なるポンプとしての役割から、とどまる・憩う場所へと徐々に変化していくことが求められます。

そこで新しい広場では、今までの交通機能を整理し、無駄の無い機能的なレイアウトとした上で、広場が新しい役割を担えるよう、植栽帯や多目的広場が加えられました。また広場の計画段階から、つくるだけでなく完成後の広場をどのように使い、活用していくのかについても議論してきました。

このように北本駅西口広場は交通広場としてだけでなく、まちの玄関口、つまり顔となる新たな役割を担いはじめました。

駅前広場に人々を迎え入れる3枚の大屋根

駅前広場には、乗降場として利用できるように3枚の大屋根をかけ、雨に濡れずに歩ける範囲を広げています。駅舎前にかかる大屋根（天井）の高さは6m。この高さは空港のロビーやビルのエントランスホールなど、「人を迎える場所」によく使われる高さです。高い大屋根は圧迫感がなく、夏の日差しを遮って影をつくり、冬の日差しを引き込むなど、季節にあわせた快適な空間をつくれます。





西中央通りから駅前広場を見た昼間の様子。
3枚の大屋根が広場に一体感を与えます。



西中央通りから駅前広場を見た夜間の様子。
柔らかな照明により大屋根が浮かびあがります。



駅舎南側階段を降りた場所から
駅前広場を見た様子。
屋根の両側から光がそそぐため
屋根の下でも明るく感じます。





北側屋根の下にあるバス停
バスが寄り付きやすいように切れ込みを入れ
ノンステップで乗り降りすることが出来ます。



バス停のベンチ越しに駅前広場を見た様子。





北側取付き道路付近を見た様子。
大屋根は南北の商店街と駅前広場を繋ぐ
ゲートの役割も担っています。



ロータリー中央の植栽帯
北本中央緑地から根株移植された
クヌギ、コナラはまちのシンボルとして成長します。



多目的広場（A区画）

イベントにも活用することのできる多目的広場は
滞留スペースとして賑わいをつくります。



駅前側から南側屋根を見た様子。
多目的広場では“あきんど市 BAR”が
催されています。



西側から南側屋根を見た様子。
歩道と車道の境界部分が屋根の照明により
はっきりと認識することができます。





Credit

基本構想

北本らしい“顔”の駅前づくり実行委員会
(筑波大学貝島研究室、渡研究室、鈴木研究室、東京工業大学
塚本研究室、森 司、北本市 (都市計画課、道路課、政策推進課、
産業観光課、生涯学習課)、埼玉県 (都市計画課))

総合監修

貝島 桃代 (筑波大学准教授)
塚本 由晴 (東京工業大学大学院准教授)

植栽

鈴木 雅和 (筑波大学教授)

U D

蓮見 孝 (筑波大学教授)

商業

渡 和由 (筑波大学准教授)

協力

麻見 直美 (筑波大学准教授)
アトリエ・ワン
国際開発コンサルタンツ

詳細設計

土木

国際開発コンサルタンツ / 小笠原 幸生、芳賀 稔、石川 忠治、高瀬 一希
アトリエ・ワン

意匠協力

建築 意匠

アトリエ・ワン / 塚本 由晴、貝島 桃代、岩崎 淑子、関本 丹青、千田 友己

構造

金箱構造設計事務所 / 金箱 温春、岡山 俊介

照明

ぼんぼり光環境計画 / 角館 政英、若山 香保、野沢 潤一郎

サイン

クロダデザイン / 黒田 益朗

設計 / 工事監理

土木

北本市都市整備部道路課

建築 意匠

アトリエ・ワン / 塚本 由晴、貝島 桃代、岩崎 淑子、関本 丹青、千田 友己

構造

金箱構造設計事務所 / 金箱 温春、岡山 俊介

施工

土木Ⅰ期

高德建設

土木Ⅱ・Ⅲ期

川村建設工業

土木電気

島村電業

屋根北・南

小川工業

屋根東

上尾興業

建築電気

富士電気工業

Booklet

編集・発行

北本市都市整備部道路課

写真

アトリエ・ワン

